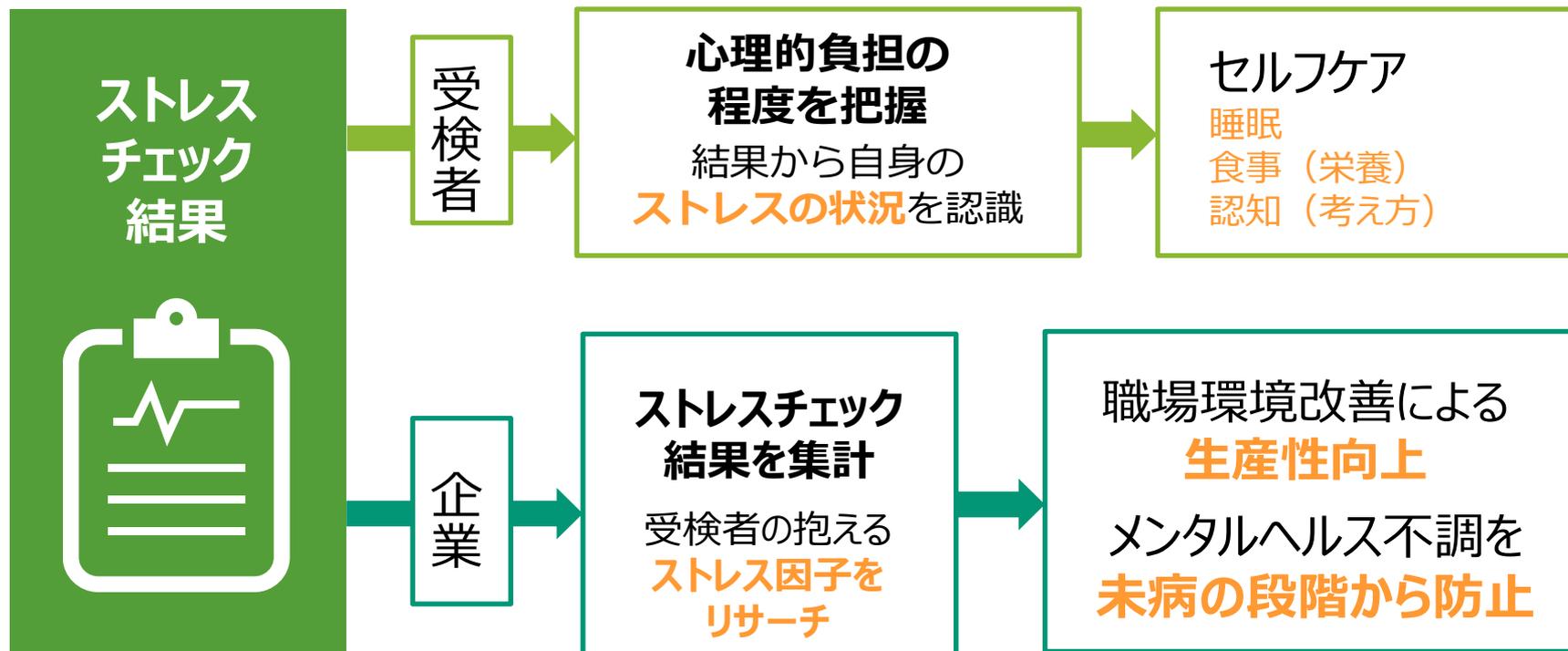


ストレスチェック集団分析 を生かそう！

上手な健康経営PDCAサイクルの回し方

ストレスチェックを「生かす」とは



最終目標は

組織 ⇒ 生産性を上げること 個人 ⇒ 働きがい、幸せを感じる

すなわち、**健康経営** につながる！

集団分析から要因分析

問題には原因があるはず！ ロジックツリーで洗い出し

目標

(こうありたいと願う状況)

人の配置や仕事量の割当てが
適切に行われている

現状

(ありのままの状況)

人の配置や仕事量の割当てが適切で
なく、仕事量が多すぎる

問題 (ギャップ)

特定の人に仕事が偏っていて
特定の人々の業務量が多い

原因

業務量の把握が
できていない

業務が属人化し、その
スキルを持つ人が少ない

特定の人に偏るような
組織体系になっている

原因ごとに解決方法を検討

問題：特定の人に業務が偏る

原因①

業務量の把握ができていない

管理職を含む部員全員の業務を把握計画立案

業務把握のため「職務記述書」にもとづく個別面談を実施

「職務記述書」改修後、職務分析を実施、衛生委員会で報告

原因②

職位が高くても業務に
時間がかかってしまっている

業務に必要な力量が不足している項目を特定

教育研修の内容について希望調査

研修会の実施

原因③

特定の人に偏るような
組織体系になっている

人事総務部門へ現状を報告

中間管理職補充のための求人募集

どんなスキルとタイプの人がほしいかヒアリング

改善計画立案 Who When How

誰が、いつまでに、何に取り組むかをしっかりと改善計画として定めることで、やりっぱなしを防ぎ、しっかりとPDCAサイクルを回すことができる。

<改善計画案>

優先順位	現状評価（問題）		誰が、いつまでに、何に取り組むか				
	現在の状態	期待する状態	具体的な改善策	実施責任者	実施時期	フィードバック方法	完了予定時期
	特定の人に業務が偏っている		属人化している業務についてスキルの継承研修実施				

改善計画立案のポイント①

- **「弱みをなくす・補強する」視点と「強みを伸ばす」視点をもつ**
マイナス面へのアプローチだけでなく、プラス面へのアプローチもある
- **良好な職場であれば、よくできている部分をさらに伸ばす**
「マイナス面がない＝環境改善が必要ない」ではない
- **実効性と低コストを意識する**
できること・取り組みやすいところからはじめる
- **職場の諸活動とすり合わせる**
（職場環境改善と生産性の向上を並立させる）
環境改善のためだけに時間を割くのは難しいことが多い
→ 並立できるもの

改善計画立案のポイント②

■ 類似した部署の改善事例を参考にする

同じ環境にある他部署での改善事例は、他社事例よりも適応しやすい

■ 企画段階で全員が関与する

やらされ感が少なく、現場ニーズに合った立案がしやすい

■ 改善方法を具体的に理解できる

抽象的・曖昧な計画ではなく、具体的に取り組める形に落とし込む

■ 変更可能な要因と変更不可能な要因を区別する

すぐにできること・すぐには難しいことを区別し、後者は長期的視点で取り組む
→すぐにできること、変えられることから取り組むことが大事

改善策 実施事例 ワークショップ型



A社

業種：製造業
社員数：約450名

要望

2年連続ストレスチェックの結果が不良。
10部門のうち2部門の健康リスクが特に高かったため
2018年度の結果をもとに、対象2部門に対して
職場環境改善を実施。

分析結果を報告

集団分析結果以外にも下記4つの現状を分析し、保健師より結果を報告
その結果にもとづいた環境改善コンサルティングを提案

- ・メンタルヘルス改善意識調査票
- ・生活習慣に関する問診
- ・勤怠情報
- ・健康診断結果

最も重要

職場環境改善計画案を部署ごとにグループワークで話し合っ作成、実行

2019年度の集団分析結果で、**対象部門のリスクが改善**

改善策 実施事例 ワークショップ型

2019年度の集団分析結果で、**対象部署のリスクが改善**

さらに良い職場環境にするためには？
従業員の満足度向上のためには？

**計画案の追加・修正の検討、
そして再び実行していくことが大事**

改善計画実施後にしっかりと再評価を行い、
計画の修正が必要であれば再度検討し、新たにPDCAサイクルを回していく。
一度の実施で終わらせてしまうのではなく、継続的に実施することが大事です！





Dr. TRUST 産業医・産業保健のことなら
ドクタートラスト

担当健康経営アドバイザーのひとこと

ストレスチェックの集団分析には、それぞれの組織の強みや弱みについての情報が詰まっています。そして、弱み（＝問題）を改善していくためにどうすればよいのかは、実はその組織に所属している皆さんこそが、一番よくわかっています。今よりもよりイキイキと働いて、生産性の高い職場環境を目指し、ぜひ皆さんも集団分析結果について話し合い、職場環境改善案を作成し、実行してみてください。

健康経営セミナー、ご好評いただいております！

- ・ 健康診断の事後措置について
- ・ アンガーマネジメント
- ・ 睡眠から考える長時間労働
- ・ 効果的な衛生委員会の運営…など

健康経営に最適なセミナーを専門職がリーズナブルに実施いたします！

詳しくは特設サイトへGO！

健康経営セミナー

検索



無料セミナー
毎週水曜日
開催中！